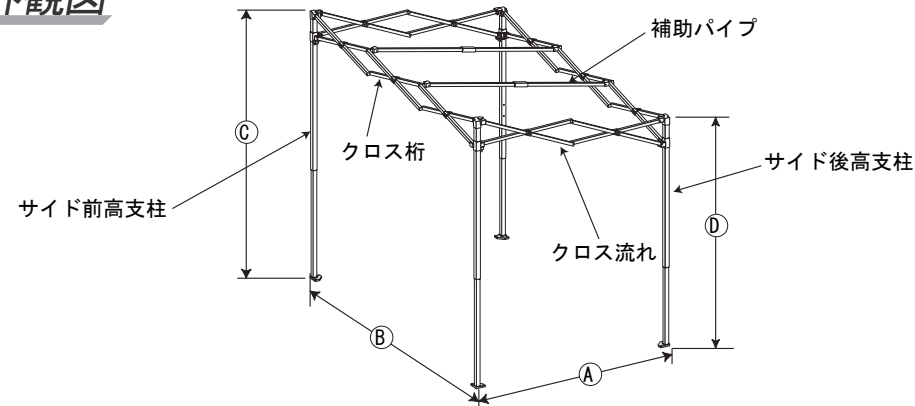


フレーム外観図

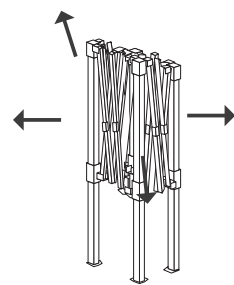
組立て説明書



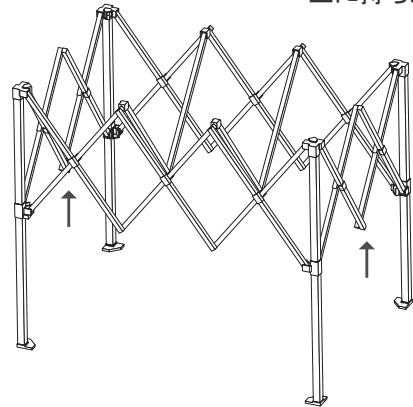
規格	広さ		奥行(A)	間口(B)	前高(C)	後高(D)	柱高さ調整
	m	坪	m	m	m	m	
1間×1.5間	5.05	1.5	1.84	2.74	2.0~2.3	1.6~2.0	4段階
1間×2間	6.64	2	1.84	3.60	2.0~2.3	1.6~2.0	4段階
1.5間×2間	9.69	3	2.69	3.60	2.1~2.5	1.6~2.0	4段階

テントの組立て順序

1 垂直に立ったフレームのサイド支柱を持ち、少し広げていきます。



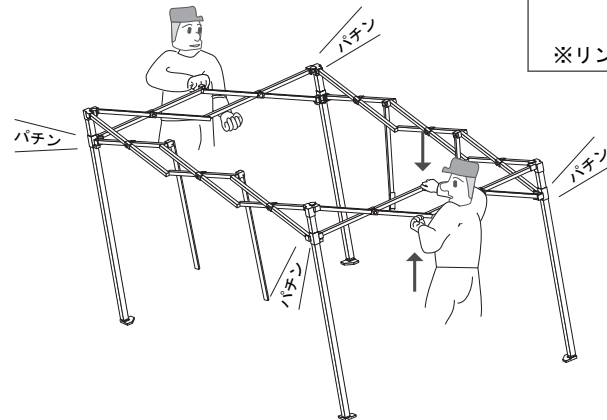
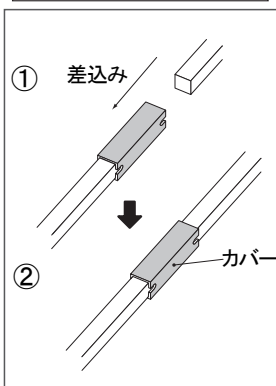
2 クロスしたフレーム（クロス桁）の下側を持ち、上に持ち上げながら左右に広げていきます。



3 完全に開ききると支柱上部にロックがかかります。

4 補助パイプを固定します。

補助パイプの固定

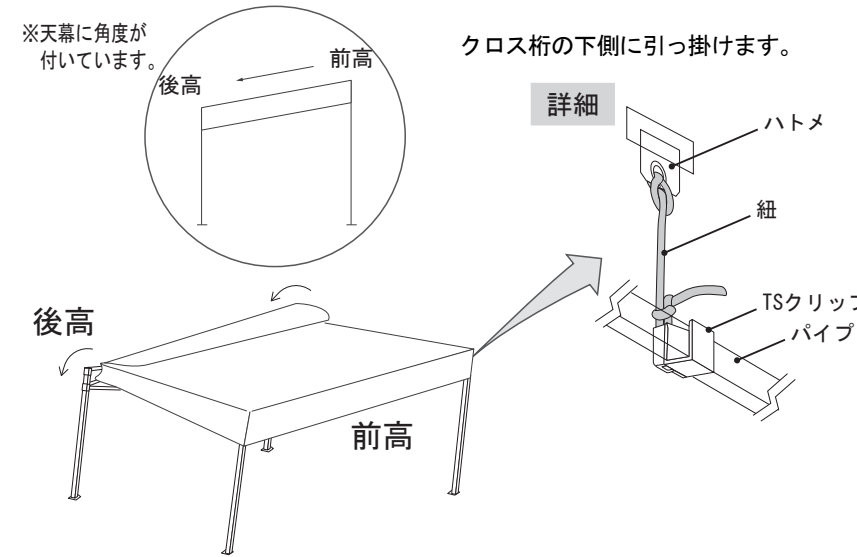


支柱の固定（ピン式ロック）



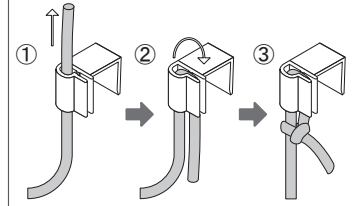
※クロス桁の下側を持ち上げる際に桁の上側を押さえると広げ易くなります。
 ※全ての支柱にロックがされているか必ず確認してください。
 ※天幕を取付けるまでは補助パイプが抜けてしまう恐れがあります。
 天幕を取付けるまでは周囲の安全を十分に確かめ、注意して設置して下さい。

5 天幕を前高2ヶ所→後高2ヶ所の順にきちんとかけ、内側からTSクリップをクロス桁に引っ掛けます。



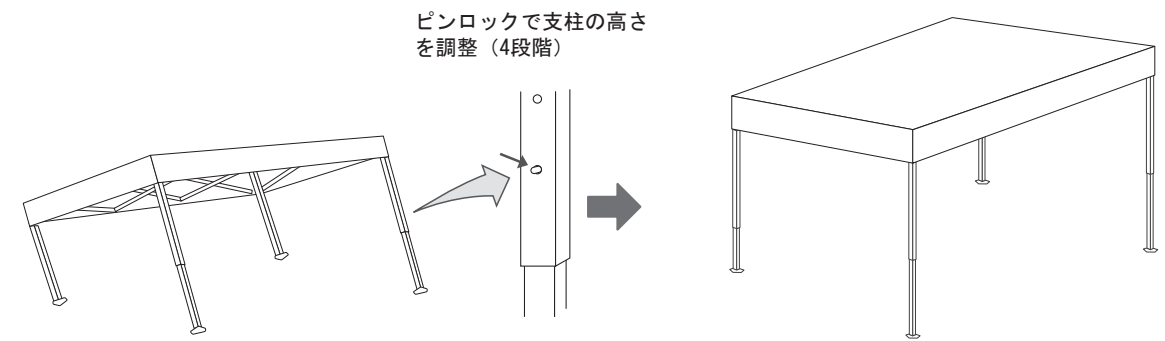
TSクリップの使い方

天幕に弛みが出れば紐の長さを調節して張ることができます。



※ワンタッチで取付け、長さ調節が可能です。

6 支柱を片側ずつ伸ばし高さを調整します。



注意 ご使用前に必ずお読みください

- ※立て上げた後は安全のためメーカー専用ウエイト、杭、ロープ等で安全対策をしてください。
- ※短期間でのご使用を目的とした仮設テントですので悪天候時でのご使用はお控えください。
- ※予期せぬ突風が吹く場合がありますので必ず風対策は万全の注意をしてください。

オプションについて（別売）

- ・専用カーゴ（フレームの持ち運び、ウエイトの持ち運びが手軽に行なえます。）
- ・ウエイト（杭が打てない所で支柱に重しを置くことでテントを安定させます。）
- ・アンダーバー（テントの安定を増したい方に力を発揮します。）
- ・キャスター（テントの柱に取付けると、よりスムーズに開閉できます。またフレームの持ち運びにも利用できます。）
- ・キャリーバッグ（テントの骨組みを、簡単に収納し、持ち運びにも便利です。）
- ・ペグ、杭、ハンマー（テントを安定させるのに使用する工具です。）
- ・引きロープ（テントの引網に使用します。）
- ・フックボルト（引き網をする時に便利です。）
- ・看板（天幕の文字がなくても簡単に看板の取り付け交換が行なえます。）
- ・雨トイ（テントを連棟した時に雨処理として取付けます。）
- ・メンテナンスツール（メンテナンスに使用する工具です。）